

平成
26年度

連続
セミナー

持続可能な現代社会の創造に向けて

大阪府立大学では、現代社会における様々な問題を多面的に捉え、持続可能な社会の構築に向け課題解決できる人材の育成を目指しています。また、持続可能な発展のための教育（ESD）そのものを教育・研究目的の1つとしています。これらの教育内容は、堺エコロジー大学が目指す「持続可能な環境共生都市の構築」に向けた環境教育・環境学習の理念と一致することから、堺市との連携により平成25年度に引き続き連続セミナーを開催します。これらを担う本学現代システム科学域の教員を講師陣とし、「持続可能な現代社会の創造に向けて」という共通テーマで連続セミナー（全6回）を開催し、大阪府立大学が持つ知識・技能を広く市民の方に還元したいと思います。

I-site なんば (南海なんば第1ビル2階) 大阪市浪速区敷津東 2-1-41

※駐車場・駐輪場はありません。 ※建物北側（ZEPPI なんば側）の大阪府立大学専用入口からお入りください。

平成26年5月17日(土)～平成27年3月14日(土)

14:00～15:30 (受付 13:30～)

連続セミナースケジュール

第1回 5月17日(土)



生物多様性と人の営み
—堤防の菜の花をみて考える—

中山祐一郎 (環境システム学類 准教授)

第2回 7月5日(土)



ものづくりと歴史と
エコロジー

杉村延広 (マネジメント学類 教授)

第3回 9月20日(土)



コンテンツとブランドによる
持続可能な観光まちづくり

荒木長照 (知識情報システム学類 教授)

第4回 11月1日(土)



人間の生命の尊厳について

森岡正博 (環境システム学類 教授)

第5回 1月31日(土)



都市における持続可能な
自然環境づくり

下村泰彦 (環境システム学類 教授)

第6回 3月14日(土)



ICTを活用した
スマートタウンの実現

菅野正嗣 (知識情報システム学類 教授)

全回(6回)ご参加の方に修了証を交付します。



- 南海電鉄「難波駅(中央出口)」より、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」より、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1号出口)」より、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」より、徒歩約7分

●定員 : 100名 (応募者多数の場合は抽選)

●対象 : どなたでも

●受講料 : 無料

●申込方法 : 「FAX」、「郵送」または「Eメール」のいずれかで、「連続セミナー一括」と明記し、①氏名(ふりがな)・年齢 ②郵便番号・住所 ③電話番号(日中連絡のつくもの)をご記入の上、5月7日(水)必着で下記宛先までお申込ください。
※第1回～第6回まで全回一括のお申込となります。
※1回ごとのお申込につきましては、順次ホームページやチラシで案内しますので、都度お申込ください。

URL : <http://www.osakafu-u.ac.jp/news/2014/nws20140407.html>

※携帯メールでの受付はしていません。

※参加の可否(抽選の結果)は、開催日の約1週間前に連絡いたします。

●申込先 : 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学 現代システム科学域支援室「連続セミナー」係

E-mail : 3s-sem@ml.osakafu-u.ac.jp

TEL : 072-254-7361 (ダイヤルイン) FAX : 072-254-9925

※お申込の際の個人情報は、応募後の問合せ連絡、統計資料作成、並びに本学公開講座の案内以外は一切使用いたしません。

連続セミナー（全6回）講演概要・講師紹介

第1回 生物多様性と人の営み—堤防の菜の花をみて考える— 5月17日（土） 14：00～15：30

河川の堤防に咲き乱れる黄色い“菜の花”。今では春の風物詩になっていますが、高度成長期以前には見られなかった風景だと言われています。また、菜の花は、生物多様性を脅かす外来生物や遺伝子組換え植物の野生化といった問題とも関わっています。菜の花って、どんな植物なのでしょう？どうして堤防に生えるようになったのでしょうか？生物多様性って、何なのでしょう？生物多様性の危機に対して、私たちは何をすれば良いのでしょうか？この講演では、堤防の菜の花を通して、私たち人間の営みと生物多様性との関わりについて考えます。

中山祐一郎（現代システム科学域 環境システム学類 准教授）

1968年京都府生まれ。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。1998年日本学術振興会特別研究員。1999年大阪府立大学農学部助手、同大学院生命環境科学研究科助教を経て、2012年より現職。

第3回 コンテンツとブランドによる持続可能な観光まちづくり 9月20日（土） 14：00～15：30

マーケティングは“売れる仕組み”、ブランドは“売れ続ける仕組み”と言われることがあります。持続可能な市場価値を得るには商品やサービスのブランド力を強化することが必要です。商品やサービスのブランドを地域に適したものを地域ブランドと言います。本講演では、特に観光によるまちづくりにブランドの考え方を応用した地域ブランド作りを取り上げます。一方、近年、映画・アニメ・ゆるキャラなどの物語型のコンテンツを、まちづくりに応用する例を多く発見します。実は、物語型コンテンツとブランドづくりは切っても切れない関係にあります。観光を通して地域ブランドづくりを考える際にコンテンツがいかに力を発揮するかを、事例を交えてお話ししたいと思います。

荒木長照（現代システム科学域 知識情報システム学類 教授）

1959年滋賀県生まれ。大阪府立大学経済学研究科博士後期課程単位取得退学。1989年大阪府立大学経済学部経営学科計量経営学講座助手。2001年講師、助教授を経て教授。2005年～2011年株式会社ギャガ・デジタルブレイン、マイントベース株式会社取締役業務。

第5回 都市における持続可能な自然環境づくり 1月31日（土） 14：00～15：30

劣悪化した都市環境に居住する都市民にとって、緑は不可欠な存在となっています。本講演では、都市近郊の里山と都市域に存在する多様な緑を取り上げて、持続可能な自然環境づくりについて紹介します。具体的には、まず、里山がライフスタイルの変容に伴い放棄され荒廃し、季節感のない常緑樹林化が進んできている現状を紹介します。次いで、都市内における公園緑地や街路樹等の公的な緑や、集合住宅や事業所等の私的な緑を取り上げ、美しい景観づくりの方法を紹介します。講演後には、風景を見る視点が変わります。

下村泰彦（現代システム科学域 環境システム学類 教授）

1958年大阪府生まれ。大阪府立大学大学院農学研究科博士前期課程修了。1985年大阪府立大学農学部助手、講師、助教授を経て、2012年より現職。

第2回 ものづくりと歴史とエコロジー 7月5日（土） 14：00～15：30

最近、中国における慢性的なスモッグやPM2.5と呼ばれる微粒子による健康被害が大きく取り上げられています。これらの現状は、18世紀以降の産業革命などにより大規模な産業化が進み、文明社会におけるエネルギー消費が増大したことによる負の側面です。ここでは、産業革命を含めた『ものづくりの歴史』と、現在進められている『人、環境、社会に優しいものづくり』の概要について説明させていただきます。特に、生産工場などにおける人に対する配慮および省エネルギー対策などについて説明します。

杉村延広（現代システム科学域 マネジメント学類 教授）

1954年大阪府生まれ。1978年神戸大学大学院工学研究科修士課程修了。1980年大阪大学大学院工学研究科博士課程中退。1980年神戸大学工学部助手、助教授。1994年大阪府立大学工学部教授。2013年大阪府立大学国際交流担当副学長。

第4回 人間の生命の尊厳について 11月1日（土） 14：00～15：30

「人間の尊厳」は、現代の社会の根本を形成しているとても大事な考え方です。しかし、科学技術が人間の生命や大自然に大きく介入するようになった現代、その考え方を拡張していく必要が出てきたと私は考えています。私は最近、「人間のいのちの尊厳」という考え方を提唱しています。人間がかぎりある人生を生きていることの尊厳、人間が身体を持っていることの尊厳、そして人間と大自然がつながりあっていることの尊厳、という三つの尊厳で、いのちの大切さを考えていくことができるのではないかと思います。私の講演では、そのアイデアを紹介し、それによって何が見えてくるのかを一緒に考えたいと思います。

森岡正博（現代システム科学域 環境システム学類 教授）

1958年高知県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科単位取得退学。1988年東京大学文学部助手。国際日本文化研究センター助手。1997年大阪府立大学助教授、教授を経て現職。

第6回 ICTを活用したスマートタウンの実現 3月14日（土） 14：00～15：30

東日本大震災をきっかけとして、エネルギーの効率的な利用の必要性が高まり、現在では、これまで日本では取り組みが遅れていたスマートシティやスマートグリッド、スマートハウスといった、情報通信技術（ICT）と電力の新たな融合分野が大変期待を集めています。電力会社はこれらの技術を用いることでどのようなことを目指しているのか、またどのような効果が期待できるのかを中心として、大規模な情報ネットワークを実現するための課題について解説します。

菅野正嗣（現代システム科学域 知識情報システム学類 教授）

1963年石川県生まれ。大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了。1996年大阪府立看護大学医療技術短期大学部。大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部。大阪府立大学総合リハビリテーション学部を経て、2012年より現職。

平成26年度 連続セミナー 「第1回～第6回まで全回一括」FAX 申込書

※は必須記入項目

※お名前	ふりがな	※年齢	
※住所	ふりがな 〒		
※TEL (日中連絡のつくもの)		FAX	

申込締切 平成26年5月7日（水）必着

FAX送信番号：072-254-9925